

東日本大震災と私

作成者 Y.H2
最終完成日 H23.8.30 (tue)

◇目次

[◇地震当日 2011. 3. 11 の私の体験](#)

[◇地震後 3ヶ月間の私の動き](#)

[◇今、私にできること](#)

[◇In English](#)

◇[地震当日 2011. 3. 11 の私の体験](#)

いよいよ卒業が近づいてきて、クラスのお別れ会をしていました。生活班で机を合わせて、飲んだり食べたりしてゲームをして楽しんでいました。

ちょうど「王様ゲーム」をしていた時でした。ドーン!!と大きな揺れがきて、「地震だ!!」とみんな机の下に隠れました。今までに体験したことのない大きくて長い地震でした。少し不安でしたが、学校にいたし、みんなと一緒にだったのでなんとか大丈夫でした。でも、時計を見たら2時47分で止まっていることに気づきました。停電でした。

その日のお別れ会は中断していったん家に帰ることになりました。会社にいるはずの母が迎えに来ていたので、「なんているの?」と聞くと、母の会社も停電で仕事にならなかったそうです。家に着くと暗くて、ろうそくの明かりしかありませんでした。しかも断水だったので、トイレやお風呂などいろいろ不便でした。その日は余震が続いていて、いつ地震が起きてもすぐ逃げられるようにと一階で寝ました。でも、いろんなことが起こりすぎて興奮してあまり寝られませんでした。

◇地震後3ヶ月間の私の動き

地震があった翌日は、とにかくいろいろな物資を集めに車で出かけました。最初は[イオン](#)に行きました。店の中には入ることが出来なかったので、店頭でものを売っていました。50人以上の人が並んでいて、商品を選ぶまでの時間に2時間以上かかり、体力的にも気力的にも大変でした。断水をしていたので水はできるだけたくさん集めましたが、[単三乾電池](#)が品切れの状態で購入することが困難でした。

私はこんな状況は初めてだったので、ドキドキしていたし驚いていました。でも本当にびっくりしたのは、電気が回復してテレビが見られるようになってからです。この地震が及ぼした[被害の実態](#)が分かって、「大変な災害が起こってしまった…!!」と思いました。

それからは、自分のできる範囲で節電を頑張りました。「家計的にも節電は大切だなあ!」と思って、今でも続けています。

そして7月10日には部活の活動として“日帰りボランティア”に参加しました。今回は被災地である[岩手県大船渡市](#)に行きました。「ボランティアする」というよりは「ボランティアさせていただく」という気持ちが大事だということを知り、一生懸命頑張りました。そのボランティアには明治大学の方々や愛知から来た方、沖縄県から来た方もいて、「これこそ“助け合い”だなあ」と思いました。

そのボランティアでは、一人暮らしをしているおじいさんの手伝いをさせていただきました。元は畑だった場所が、津波によって被害を受けてしまったそうです。私たちが見たときは雑草が生い茂っているだけだったので、元が畑だったことを聞いてとてもびっくりしました。雑草取りは大変でしたが、やり終えたときの達成感と喜びはとても大きかったです。こんな貴重な体験をさせていただいて本当によかったです!!

◇今、私にできること

私は今節電を心がけています。できる範囲の少しのことでも、何もしないよりは良いと思っています。

[今私たちにできること](#)はたくさんあると思うので、被災地の皆さんの為にもがんばって取り組みたいと思います。

◇English Summary

If you want to help victims, you should save water.

I want to save water.

And, I want to save victims.

